

# 摂津市

Settsu City

総人口	在留外国人数	比率
87,088人	2,333人	2.68%

大阪府中北部に位置する摂津市は、都心から約12kmの「大阪のハート」です。

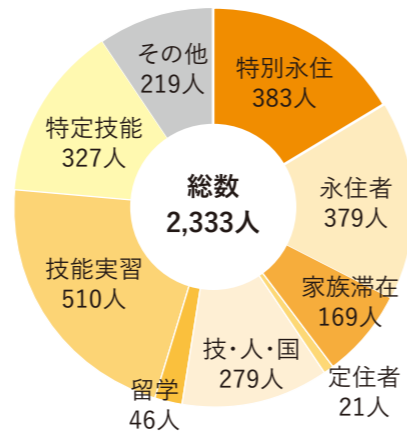
面積14.87km<sup>2</sup>の市域は平坦な「レ」の字型で、淀川の自然に恵まれた約8万7千人のまちです。「心」を大切にする市政を掲げ、独自の「人間基礎教育」や健都との連携を推進。

地区再開発などハード・ソフト両面で新たなまちづくりを進めています。



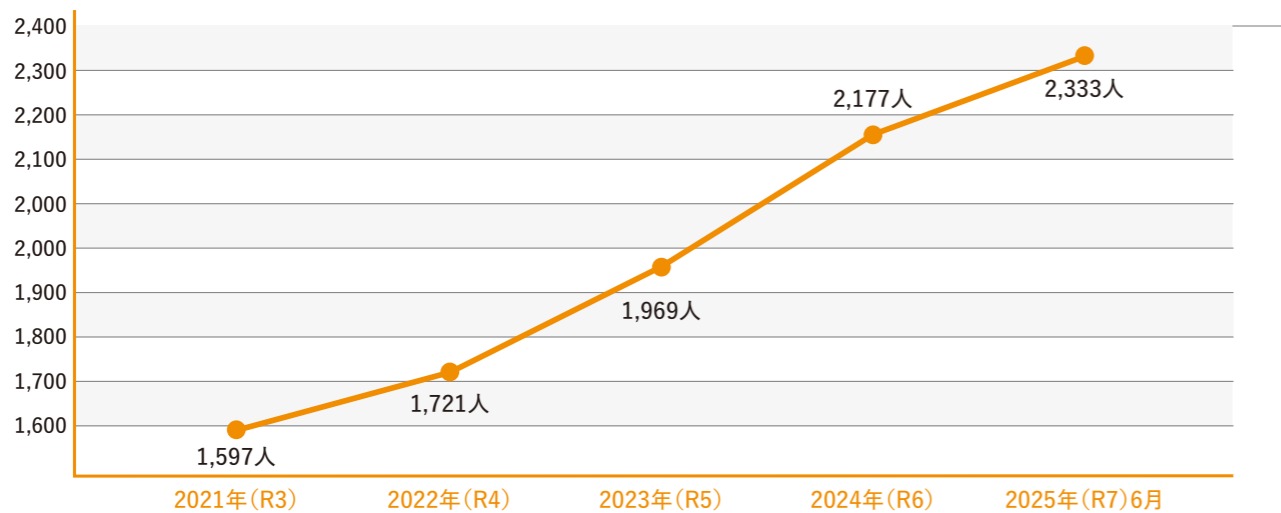
## 摂津市の特徴

大阪のベッドタウンという立地から、就労を目的とした在留資格を持つ人や、その家族として滞在する層など、比較的安定した生活基盤を築いて暮らすファミリー層を中心とした定住傾向が見られます。



法務省在留外国人統計 2025年6月より

## 外国人数推移データ



法務省在留外国人統計 2025年6月より

## 01 福祉

# 包括的な支援体制の整備に向けて

保健福祉部 保健福祉課、社会福祉法人 摂津市社会福祉協議会

## 保健福祉部 保健福祉課

摂津市では、地域共生社会の実現に向けて、令和8年度から「重層的支援体制整備事業」を実施します。

「重層的支援体制整備事業」とは、市域全体で断らない相談支援体制を整備するため、既存の相談支援や地域づくりに係る取組みを活かし、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するための事業です。

この事業に先駆けて、令和6年度と令和7年度に、重層的支援体制整備事業に係る移行準備事業として、「包括的相談支援事業」や「多機関協働事業」、「アウトリーチを通じた継続的支援」の取組みが始まっています。

近年、外国人住民の増加や文化・生活様式の多様性が進む中、生活課題もまた多様化しています。市ではそれらの課題解決に向け、「高齢」「障害」「こども」「生活困窮」などの各分野において支援を行っている状況ですが、今後、各分野だけの課題解決が困難な場合に、分野を横断して包括的に支援を行う体制を整備します。



## 社会福祉法人 摂津市社会福祉協議会

### 地域連携

外国人住民の支援は過去に比べると増えてきています。例えば、住民票の転入届ができていないまま摂津市で生活していることで、保育園にもこども園にも申し込みができない、また、夫が仕事に出て母親が子育ての悩みを一人で抱え込んでしまい、しんどくなるといったような相談を保健師から受け、CSWと一緒に同行して対応したこともあります。言葉の壁により外国人住民とのコミュニケーションに困難をきたすと相談が途切れがちになり、継続的な支援につながりにくく、一時的な対応で終わってしまうケースもあります。言葉の問題が生じた際は、国際交流協会やせつつ地球村に通訳を依頼することもあります。

外国人住民のボランティア活動は、昨年は市内でお仕事されている30代が2名いらっしゃいました。ボランティア団体の一覧を渡し、情報提供とボランティア登録をしていただきました。また、鳥飼東で行われる地域イベント「鳥の市」では、せつつ地球村の代表が実行委員として参加し、外国人住民も一緒に参加できる企画を進めています。外国人住民からは「摂津市は住みやすい」という声もあり、地域の受け入れ体制にも明るい兆しが見えています。外国人住民と地域の人が、イベントを通じて交流できる機会となっています。

社会福祉法人  
摂津市社会福祉協議会



## 02 多文化

# 多文化共生社会の推進

生活環境部 自治振興課、摂津市国際交流協会

## 生活環境部 自治振興課

### 多文化共生社会の推進について

当課は、友好都市提携を結んでいる中華人民共和国の安徽省蚌埠市や、オーストラリア・クィーンズランド州バンダバーグとの友好都市交流の窓口となっており、国際交流や多文化共生に関する業務も担当しています。摂津市では2020(令和2)年に事務分掌に「多文

化共生に関すること」という文言が加わり、国際交流から多文化共生へと施策の重点が移行しつつある中で、その実務を担っている国際交流協会との連携や日本語教室の運営委託など、外国人支援に関わる業務を統括しています。

## 摂津市国際交流協会

任意団体で法人格はありません。「多文化・多様性の理解」「人と組織のネットワーク構築」「参画して自己向上・実現への挑戦」の基本事業体系をもとに、市からの委託事業や補助金を活用しながら継

### 日本語教室について／地域連携について

日本語教室は国際交流協会からボランティアグループが委託を受け、市内5か所で実施しています。直営の日本語教室と日本語サロン(子ども連れでも参加可能)は協会のあるコミュニティプラザで実施、その他はボランティアグループに委託をして市内3か所でサテライトとして展開し、協会の本部から遠い場所に住んでいる人でも通いやすく、地域での外国人住民の生活サポートの役割も果たしています。教室では、「教える人」と「教わる人」という関係だけでなく、学ぶ人が中心となって交流できる場所を目指し、支えるボランティアの育成にも力を入れています。日常生活で使える日本語を大切にしながら、地域の人たちと交流できる場所にもなっています。

摂津市国際交流協会



地域在住の色々な国の方が日本語を学習しています

#### せつつ日本語・SAIE

コミュニティプラザ  
火曜10時～11時30分  
48回開催  
学習者10名(134)  
ボランティア7名(276)

#### 日本語サロン

コミュニティプラザ  
木曜10時～11時30分  
45回開催  
学習者9名(110)  
ボランティア11名(329)

#### 日本語学習会

別府町・第5集会所  
土曜午後7時～9時  
31回開催  
学習者5名(48)  
ボランティア3名(61)

#### 日本語教室

**\*主な学習者\***  
中国、ベトナム、フィリピン、インドネシア、インド、ブラジル、韓国、ミャンマー、タイ、モンゴル、台湾、スリランカ、アメリカ、カナダなど  
※( )内は年間延べ人数

#### せつつ日本語・あじふ

味生公民館  
土曜午後6時～7時30分  
50回開催  
学習者9名(123)  
ボランティア9名(177)

#### 日本語教室さくらクラブ

摂津市扇町下3丁目38-3  
金曜午後7時～8時30分  
日曜午後3時～5時  
116回開催  
学習者38名(594)  
ボランティア5名(319)  
\*他曜開催含む  
(10/22)バーベキュー(バーベキュー参加：15名(うち学習者12名・中国、ベトナム、インドネシア、インド))

#### 大人の英語講座

(安威川公民館)  
月曜 午前9時20分～12時  
初級・中級・上級  
講師：ジェイ・グールドさん  
(カナダ出身) 前期  
ジャクリン・カスリさん  
(アメリカ出身) 後期  
前期 15回 参加22名  
後期 15回 参加22名

#### 親子DE英語講座

(コミュニティプラザ)  
隔週木曜 午前10時～11時10分  
(レッスン、交流会)  
対象：1～3歳の親子  
講師：デニス・グラスさん  
(アメリカ出身)  
前期 (全10回) 参加 親子5組  
後期 (全10回) 参加 親子7組

#### 語学教室

**中国語講座**  
(安威川公民館)  
隔週土曜 午後2時～4時30分  
(前期) 初級・中級  
午後1時30分～4時30分  
(後期) 初級・中級・上級  
講師：李 都都さん (中国出身)  
前期 10回 参加11名  
後期 10回 参加12名

**子ども英語講座**  
(コミュニティプラザ)  
隔週金曜 午後3時30分～6時30分  
(ホップ) 4歳～未就学児  
(ステップ) 小学1～3年生  
(ジャンプ) 小学4～6年生  
講師：デニス・グラスさん  
(アメリカ出身)  
前期 (全10回) 参加 27名  
後期 (全10回) 参加 24名

**会員募集**

- \*当協会の事業に無料または割引で参加して頂けます。
- \*「かわら紙」をお届けし、参加申込みなどを優先的に受け付けます。

<年会費>  
個人会員 3,000円 家族会員 5,000円  
青少年会員 1,000円 法人・団体会員 10,000円(1口)

摂津市国際交流協会  
〒566-0021 大阪府摂津市南千里丘5-5-35  
摂津市立コミュニティプラザ 2F  
TEL: 06-4319-4251 FAX: 06-4318-6004  
E-mail: office@settsu-saie.org  
URL: http://settsu-saie.org

【開室時間】 平日 9:30～12:00, 13:00～16:30  
(休館日: 土・日・祝日、第4水曜日)

## 03 まちづくり

# 市民自治によるまちづくりの視点から

生活環境部 自治振興課、市民の声、当事者の声

## 生活環境部 自治振興課

摂津市では市民公益活動センターがないので、担当課がNPOや自治会などの市民公益活動の支援を主軸としながら、国際交流や多文化共生に関する業務も担当しています。多文化共生に取り組む団体は少ないですが、その一つに、JICA(独立行政法人 国際協力機構)の

OB・OGが中心となり、途上国支援の経験を活かして国内外で地域活性化や福祉・国際協力活動を行うJOCA(青年海外協力協会)の大阪の拠点(JOCA大阪)が摂津市にあり、地域の国際化支援だけでなく、市民公益活動の交流の場、市民の居場所を運営しています。

## 市民の声

せつつ地球村 村田 美香さん

地域に住む外国人が安心できる多文化の居場所づくりとして「地球村ハウス」を運営しています。そこでは、外国にルーツの子どもと不登校の子どもが「フィーリングが合う」場面が多くあり、集団になじみにくい、共感されにくい経験を持つ子ども同士の「安心できる場」になっています。外国にルーツのある子どもたちの課題は「外国人だけの問題」とした個別支援にとどまらず、地域の中で「安心して過ごせる場」を確保し、保護者も含めた段階的な参加支援を行うことが有効です。病院や市役所への同行、代筆や通訳など、あらゆる生活面での相談において地域、学校、専門機関と包括的支援の連携を密に図り、外国人家族への個別生活支援、進路相談を行っています。また、摂津市学童保育指導員を20年以上勤めた強みを活かして、地域や学校と連携を図り、日本語学習・家庭生活支援にも関わっています。

学校を含め支援者の働きかけが地域参加の可否を大きく左右するため、多機関連携を前提とした支援体制づくりと、卒業後も含めた継続的な見守りの仕組みも重要です。地域とのつながりをつくるために、地域で開催されるさまざまなお祭りには多文化交流コーナーの設置にも参画しています。

日本人が多く集まる場でも、外国人の方は地域の住民でありながら

参加しづらい現実があります。そこで、一緒にイベントを企画し、「出店しているからおいで」と声をかけることで、参加しやすい環境づくりに取り組んでいます。



せつつ地球村



## 外国人住民の声

マウンさん、スーさん(ミャンマー出身)

ふたりとも来日前に独学で日本語を学び、日本語検定能力のN4(基本的な日本語を理解することができる)レベルに到達しています。大阪の方言や話すスピードに戸惑いながらも、近所の住民や職場の人々の助けを得て、安心して生活を始めることができました。妊娠後は職場の紹介で病院を受診し、前置胎盤のため別の病院で出産しました。母子手帳の手続きや保健師の説明も日本語で丁寧

に行われ、相談体制も整っていました。赤ちゃんは無事に生まれ、現在は間もなく退院予定です。育児には不安もありますが、日本語教室の先生を頼りに生活に必要な情報を得ながら過ごしています。将来は保育園の利用や仕事復帰も視野に入れ、支えてくれる地域の人々と共に、日本での生活をより良いものにしようとしています。